

「ひまわりピンチ(大、中、小)」

西尾老人保健施設

塚本 健二

【目的】

つまみ動作、目と手の協調動作などの自主練習を、少しでも楽しく実施して頂くために作成しました。

【使用手順】

セラピストが洗濯バサミ(ひまわりの花びら)を、2, 3つ円盤部(ひまわりの種の部分)に挟んで、洗濯バサミをどのように操作するのか実際に見て頂きます。そして、洗濯バサミを挟んでいくことで「ひまわり」の花が咲いていくことを説明します。

各々のやり方でひまわりが咲くように、洗濯バサミをつまんで挟んでいきます。

一周挟めたら完成! (「ひまわり」を眺めた後、円盤部から洗濯バサミを入れ物(鉢)に戻します)

* 作業姿勢: 椅子座位、車椅子座位での机上作業

【効果】

円盤の丸みに沿って、洗濯バサミを均等に挟んでいくことで、構成力やピンチ力等の練習ができます。

構成的で枠組みのある作業であり、その中で自分なりの「ひまわり」のイメージを持って、自分の体の使い方を考えていくことができます。

反復可能な作業であり、少しずつきれいな「ひまわり」を咲かせられるようになった時など、効果判定がし易い作業です。

完成形は「ひまわり」の形になるため、視覚的に成果、作業量が明らかで達成感が得られる作業です。

「ひまわり」という明るいイメージの花が咲くため、手の運動をしながら、気持ちが明るく、暖かくなる、そんな精神面での気分転換も図れます。

【使用例(適応症例)】

細かな動作をする力やつまむ力の低下している方。

物と物の位置関係が適切に把握できない、全体の形が適切に把握できない、構成力が低下している方。

上肢の各関節の動きが低下している方。

利き手交換を行う方、或いは両手動作を行う方。

気分が何となく晴れない方、くもっている方。

* 具体的疾患

頸椎症、脳卒中、認知症、抑うつ

【反応、結果】

これ迄4年程使用していますが、性別や疾患(認知症、脳卒中など)に関わらず、手指が動く方においては、作

業内容の不理解、拒否、危険行為などは見られず、概ね目的に応じた良い効果が見られています。

性格も反映され易いようで、職人気質の方は非常に丁寧に、几帳面に洗濯バサミを操作されています。

作業中、或いは作業結果を見て、「できた!」、「きれいにやるね~」、「(洗濯バサミと洗濯バサミの間を指差しながら)この隙間を詰めると上手くいくよ」等、本人様自身の言葉と共に、周囲の方々が興味や関心をもって観察、交流されている場面も見られます。

「一番小さなひまわり」を咲かせることができる方は少なく、それができる方は、周りの方から「すごいね!」と声を掛けられている場面も見られます。

茎の部分を鉢から取り外した状態で、洗濯バサミを挟んで頂き、最後に茎を鉢に取り付け、完成形を見て頂くこともあります。

【作製方法】

材料: 木製洗濯バサミ(大、中、小)、丸棒、色画用紙、プラスチック板、テープ、ベルクロ、絵の具、ニス、木工用ボンド

道具: はさみ、テープ、筆、のこぎり、紙やすり

作成工程

< 種、茎の部分 >

色画用紙(茶色)を円く切り取り、マジックなどを用いて種の模様を描きます。

その画用紙の両面を透明なプラスチック板で挟み、周囲をテープで縁取ると種の部分(円盤)ができます。

円盤と丸棒をベルクロで接着、土台となる鉢にとりつけると、種と茎の部分が完成します。

< 花びらの部分 >

木製洗濯バサミを軽くやすりがけした後、黄色の絵の具を塗ります。乾燥後、ニスで仕上げて完成です。

【管理、手入れ】

小さな洗濯バサミが時々擦じれて、バネが外れてしまうことがありますので、随時修理を行います。

数年使用していると、指で洗濯バサミをつまむ部分が褪色してくることがありますので、随時、色を塗り直します。



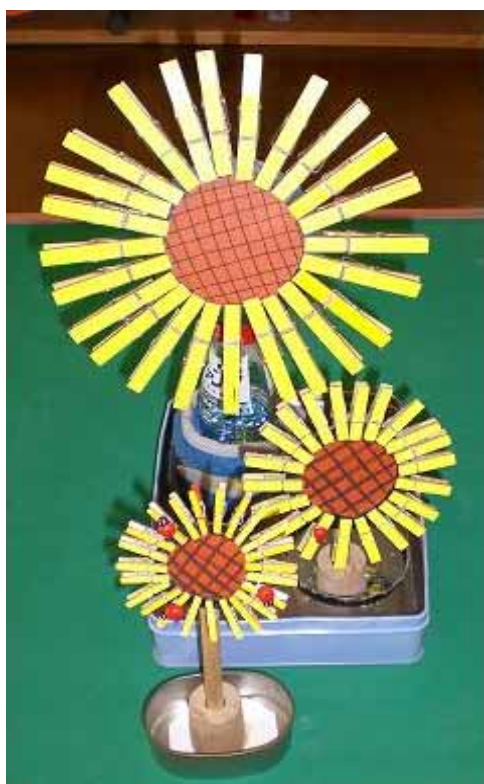
【 作品の全体の写真 】

黄色の木製の洗濯バサミ(大・中・小)と、それぞれの大きさの洗濯バサミに対応する、ひまわりの種(円盤/大・中・小)が組となっています。



【 使用風景 】

洗濯バサミをつまんで、円形に配置していきます。段階づけは大きいもの 中くらいのもの 小さいものとなります。



【 作品の特徴を示す写真 】

完成時には、種(円盤)の周りに、洗濯バサミの黄色の花びらが付いて、大きなひまわり、中くらいのひまわり、小さなひまわりが咲きます。